

全国プラネタリウム大会・名古屋 2006 第 1 回 実行委員会 報告

下記のように、全国プラネタリウム大会・名古屋 2006 実行委員会の第 1 回目会合を開催しました。

開催日時：平成 18 年 1 月 10 日（火） 14：00－17：45

場 所：名古屋市科学館 会議室

進行：毛利勝廣 記録：長谷川好世

出席者：全国プラネタリウム大会・大阪 2005 大会実行委員長 若宮 崇令★

(欠席)全日本プラネタリウム連絡協議会(AJPA) 会長 青木 良夫★

日本プラネタリウム協会(JPS) 会長 北原 政子★

日本プラネタリウム研究会(NFP) 会長 菅原 賢★

開催館 名古屋市科学館 片山 卓(副館長)

野田 学★

前回開催館 大阪市立科学館 嘉数 次人★

三会合流WG ディスカバリーパーク焼津 宗政 剛(AJPA) ★

さいたま市宇宙劇場 糸賀富美男(AJPA) ★

名古屋市科学館 毛利 勝廣(JPS) ★

白井市文化センター・プラネタリウム 長谷川好世(JPS) ★

NPO 法人エム・ワイ・ピー 加藤 治(NFP) ★

※¹ 厚木市子ども科学館 菅原 賢(NFP)

(※1 任期中に会長に就任したため WG から抜ける)

■議題

1. 本組織「全国プラネタリウム大会・名古屋 2006 実行委員会」についての確認

大阪大会 2005 終了時の合意に基づく次の 3 点の事項を了承しました。

①各会の会長と開催館(名古屋)と前回開催館(大阪)を含めた上記★印を委員とする。

②全国プラネタリウム大会・名古屋 2006 の大会実行委員長 若宮 崇令 氏にお願いする。

③国内プラネタリウム組織が合流する大会として、名古屋市科学館は大会開催を引き受ける。

2. 大会名称と実行委員会組織(仮)

「全国プラネタリウム大会・名古屋 2006」

若宮大会実行委員長

実行委 web ボランティア スケジュール(講演会、分科会等) 出席者管理(名簿) 会計

3. 開催時期について

12月上旬で調整中です。プレコンファレンスとして日曜日を入れる^{※2}可能性もあります。(※2 下記5-③参照、観望会は休日開催のため)

4. 大会経費について

大阪大会残金で当初は運営します。大阪大会と同様に会員 5000 円・非会員 6000 円を徴収する予定です。

5. 年1回の大会の持つ意味

次の5点を挙げました。

- ①全国の仲間が集う機会 価値のあることを行おう。
- ②個々の地域ごとに巡回できるような研修会は本大会ではなるべく行わない^{※3}。
(※3 実務者研修や担当職員研修などは年間研修スケジュールに盛り込み、研修しやすい環境を作る。)
- ③開催館の特色を出す。今回の名古屋大会では「市民観望会」の見学が一案としてあがっています。館の職員以外に館を支える多くのボランティアが参加しています。
- ④口頭発表を精査することは必要である。
- ⑤小規模館でも大会が可能。研修会は公民館等の施設を借りることにより、実施できるが、弱みはドームの収容人数が少ないので、ドーム発表が窮屈になることである。

<以前に小規模館で開催した例>

AJPA かわべ天文公園(11M90 席) 館内の別施設も使用

JPS 大塔大会(12M102 席) 館内の別施設も使用

NPF 米子・さじ大会(12M130 席、6.5M40 席)

館内の別施設も使用し、投影はグループ分けして見学

6. その他

合流に際しては、新会設立準備委員会を立ち上げ、合流への準備を進めていくことになりました。第1回目の会合は、3月6日を予定しています。

以上

ご質問のある会員の皆さまは各会の委員にお尋ねください。